

清水 美孝 議員

(一問一答方式)



- ①森林資源の維持について
- ②椎茸生産について
- ③森林組合との関わりについて

林野火災について

問 長浜町白滝、戒川地区での林野火災では、約13ヘクタールの森林が焼失した。今後、焼失した場所に大量の雨が降った場合、表土が流出し、崖崩れ、山崩れ等の二次災害が心配されるが、二次災害に対する備えや考えはあるのか。

答 11月1日から8日にかけて発生した白滝、戒川地区の林野火災では、発生以降、愛媛県災害対策本部との連携の下、自衛隊、愛媛県、県内の消防隊、各自治体の防災ヘリの支援・協力をいただき、懸命な上空からの散水活動、さらには消防団員と消防隊員による地上での消火作業により鎮火に至ったものです。

特に、自衛隊の迅速かつ献身的な支援により、火災の拡大を抑制できたものと考えています。

また、地域住民の方々には、慣れない避難生活において不安や不便な生活を過ごされたと思いますが、こうした避難行動に協力いただいたことにより、自衛隊機による散水活動など効果的な消火活動につながったものと考えています。

火災鎮火後における二次災害の備えについては、先般、関係機関等との合同調査により林野の現況把握を行っており、今後は愛媛県や関係機関等と連携しながら、整備方針や計画策定を行います。

二次被害の対策としては、山林の荒廃拡大や土砂の流出が予想される場合、山林所有者の方や地元の方々の意見を伺いながら、地ごしらえや植林、谷止め工など復旧事業や防災対策を講じていきたいと考えています。

椎茸生産について

問 椎茸生産に対し農協・森林組合への補助額はどの程度あるのか。また、大洲産椎茸をブランド化する

ためには、出荷に際して農協・森林組合が統合し一本化する方が良いと思うが、その働きかけを行う考えはないか。

答 椎茸生産に対する補助金額はJ A愛媛たいき及び大洲市森林組合、双方の出荷者で構成される大洲市椎茸生産振興協議会を通じて、年間1万駒以上を植菌する生産者を対象とし、1駒当たり1円の種駒購入補助金を交付しています。

また、昨年度からは、乾椎茸生産用乾燥機の燃油価格高騰を受け、出荷量1キログラム当たり35.5円を助成する燃油補助も行っています。

昨年度の補助金額を団体別に区分すると、種駒購入補助及び燃油補助の合計として、J A愛媛たいきが約126万円、大洲市森林組合が約580万円、合計で約706万円となります。

本市で生産された椎茸は、全農、愛媛県森林組合連合会、それぞれの市場に分かれて取り扱われており、乾椎茸生産者はそれぞれJ A愛媛たいきと大洲市森林組合に出荷されています。各市場では特徴のある選別の仕方により、双方ともに機能しているため、現時点で市から統合の働きかけを行うことは考えていませんが、本市の乾椎茸は全国でも有数の産地であることから、今後もその地位を維持できるよう、各補助事業等の支援に取り組んでいきたいと考えています。

森林組合との関わりについて

問 市は森林組合の事業に対して各補助金を拠出しているが、その成果はどのように管理監督し、運営や経営状況に関してどの程度把握しているのか。

答 市から森林組合に対しての事業補助金については、大洲市補助金交付要綱及び各事業の補助金交付要綱等に規定される申請書類の内容審査及び完了後の書類、並びに現地検査の実施を通じて、適正な補助金の交付に努めています。

また、森林組合の指導監督については、森林組合法に基づき愛媛県が実施しています。本市では、詳細な運営状況は把握していませんが、公表されている決算状況等を確認する限りでは、近年の経営状況は特に問題はないものと考えています。